



2018年3月期

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 CEO 佐藤 慎次郎

問合せ先責任者 広報室長 大曲 昌夫

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <http://www.terumo.co.jp/>

2018年5月9日

2018年3月期決算概要

テルモ株式会社
常務執行役員
北畠 一明

2018年5月9日

売上・全ての利益において過去最高を更新

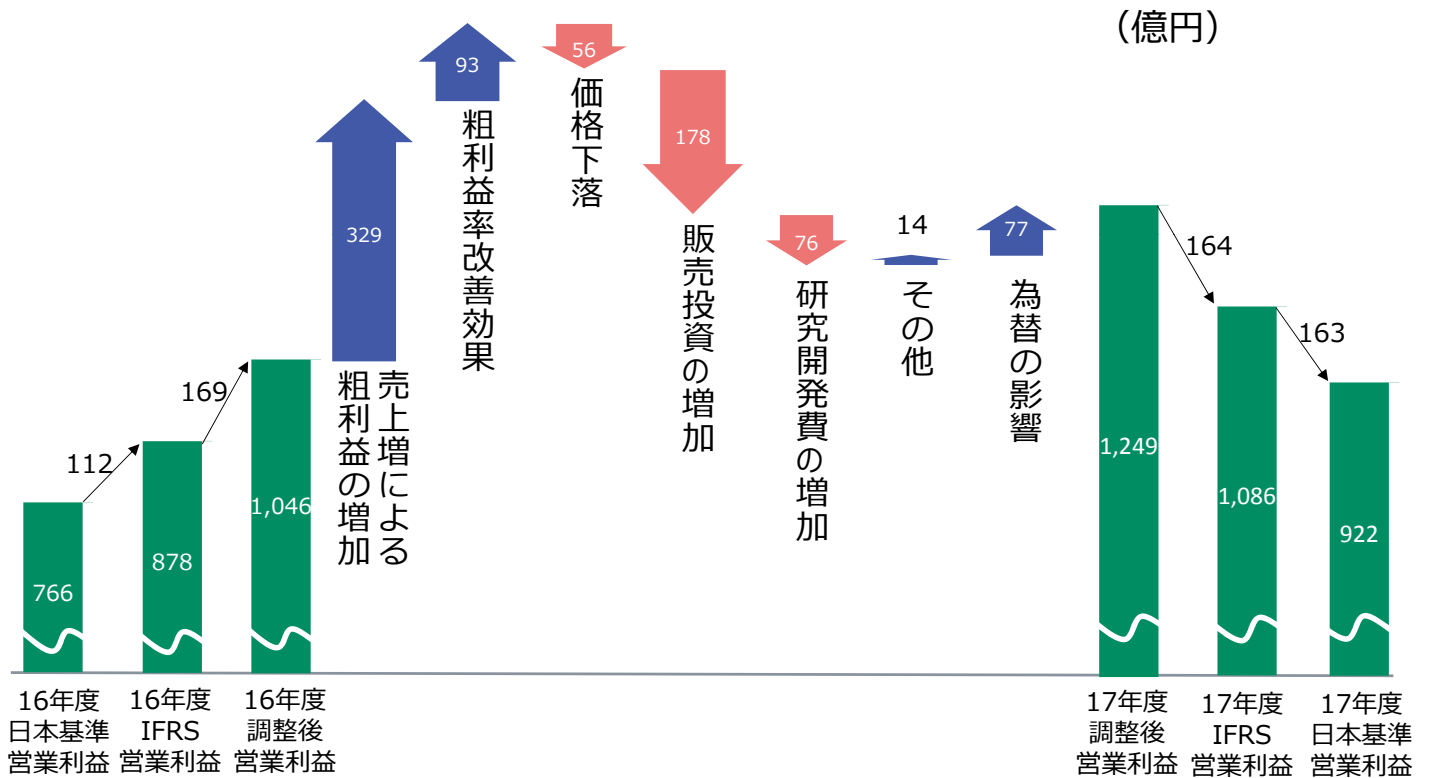
(億円)

	16年度累計		17年度累計		増減率	為替除く 増減率
	IFRS	日本基準	IFRS	日本基準		
売上収益	5,142	5,142	5,878	5,878	+14%	+11%
粗利益	2,738 (53.3%)	2,780	3,193 (54.3%)	3,272	+17%	+12%
一般管理費	1,509 (29.4%)	1,677	1,710 (29.1%)	1,941	+13%	+10%
研究開発費	324 (6.3%)	337	413 (7.0%)	409	+28%	+26%
その他収益費用	-28	-	16	-	-	
営業利益	878 (17.1%)	766	1,086 (18.5%)	922	+24%	
調整後営業利益	1,046 (20.4%)	973	1,249 (21.3%)	1,210	+19%	+12%
税引前利益	749 (14.6%)	750	1,066 (18.1%)	893	+42%	
当期利益	550 (10.7%)	542	913 (15.5%)	756	+66%	

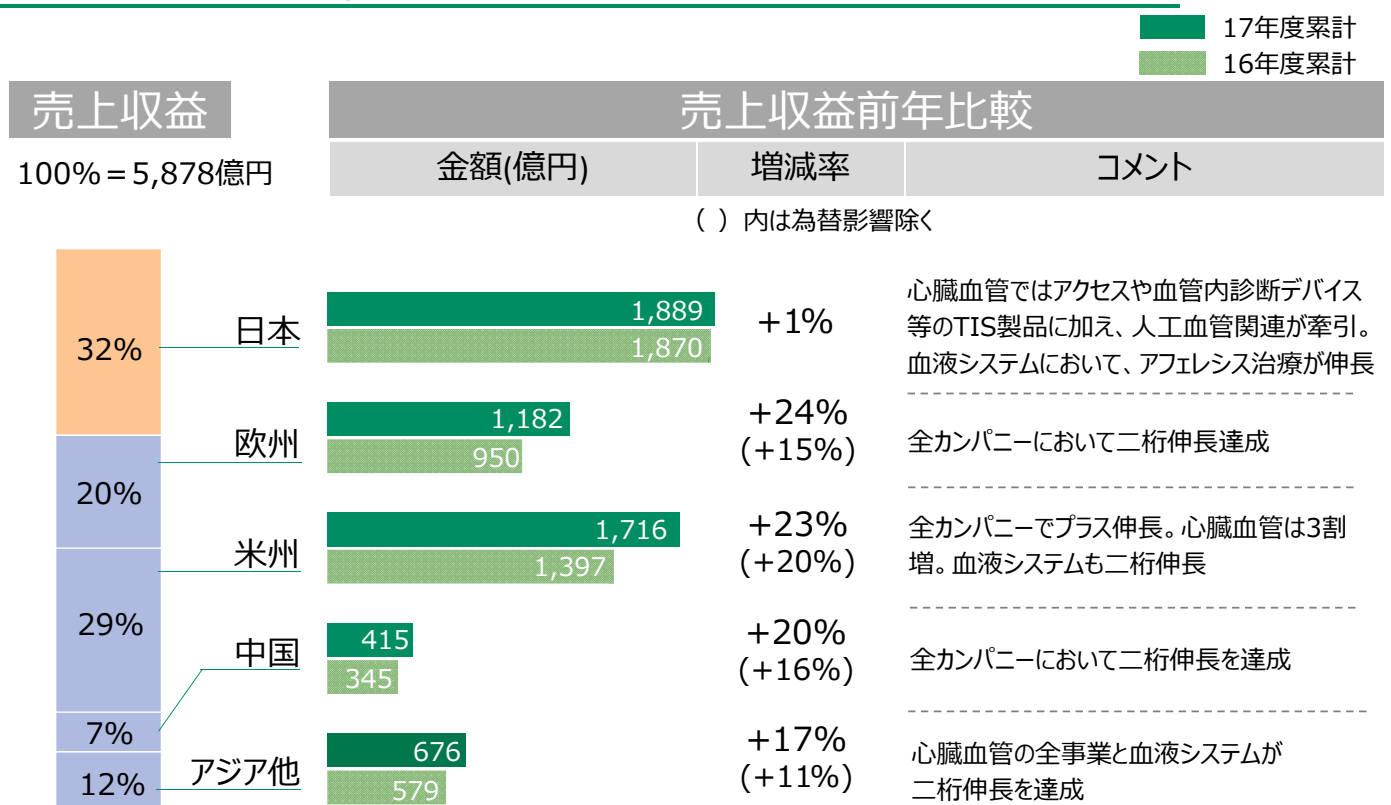
期中平均レート USD 108円 111円
 EUR 119円 130円

- 売上収益 : 心臓血管カンパニーの全事業が二桁伸長し全体を牽引
- 調整後営業利益 : 売上収益の大幅増が販管費の増加をカバーして二桁伸長
- 税引前利益 : 16年度 IFRSでは有価証券売却益等はP/L計上せず
- 当期利益 : 17年度 米国税制改革による、法人税等の一過性の減少（153億）もあり大幅増

調整後営業利益増減分析 (IFRS)

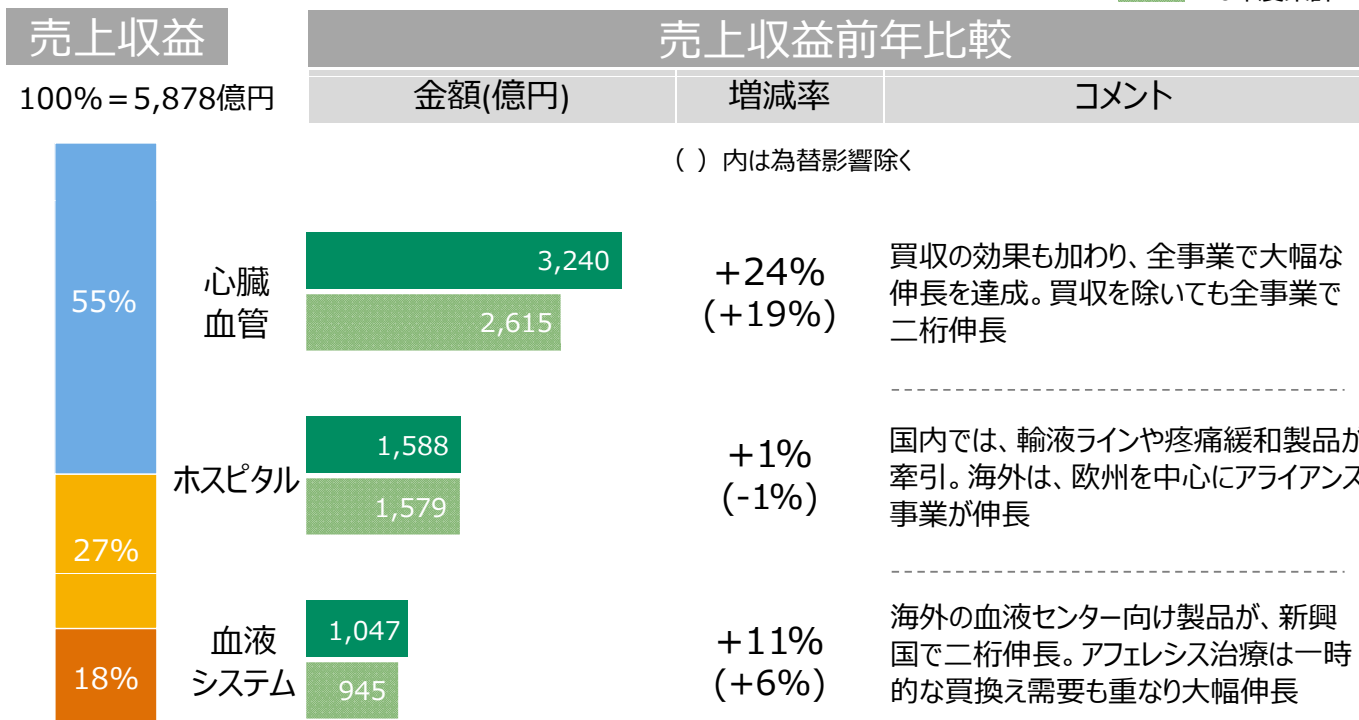


地域別売上収益

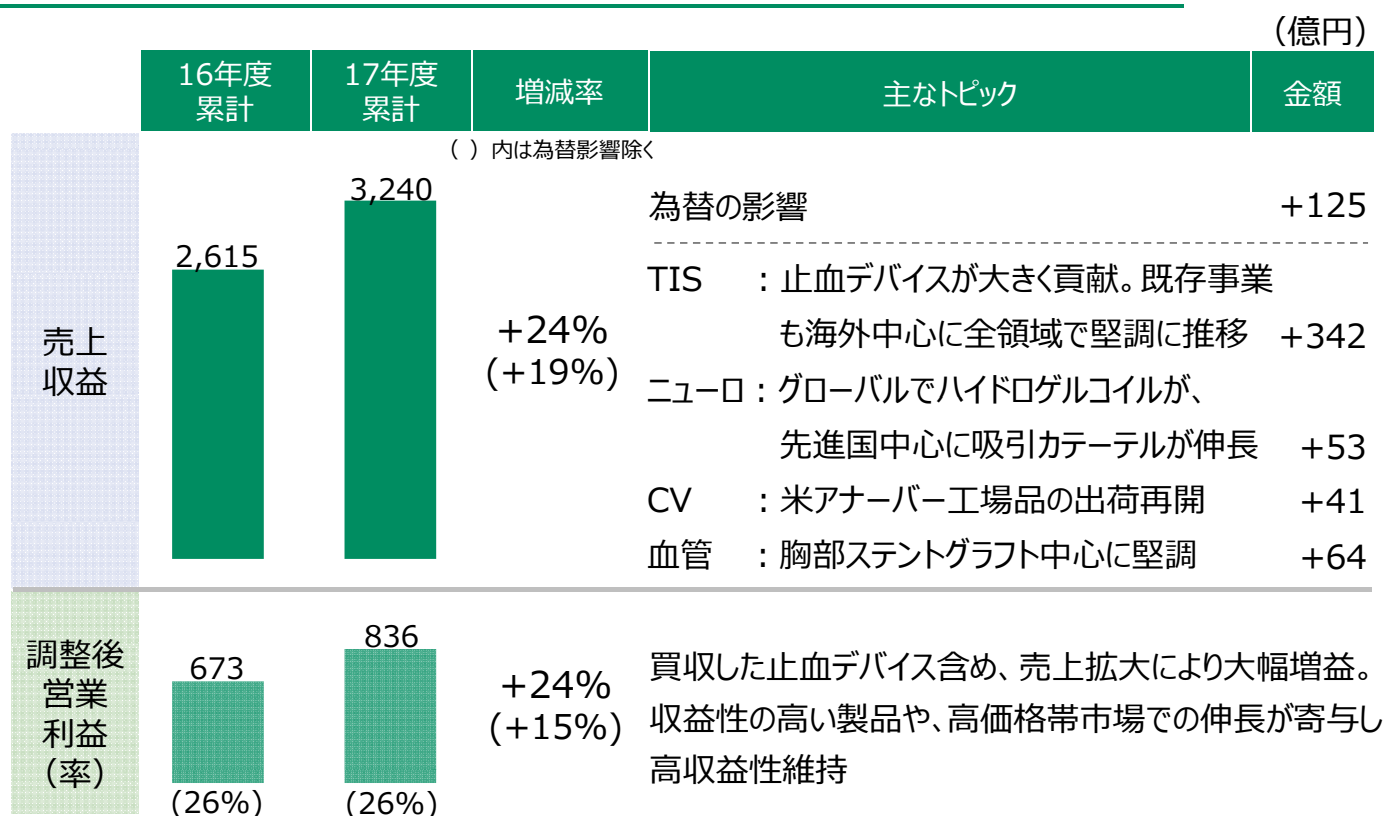


カンパニー別売上収益

■ 17年度累計
■ 16年度累計



心臓血管：全事業で二桁増収達成



ホスピタル: 着実に収益性改善

(億円)

	16年度 累計	17年度 累計	増減率	主なトピック	金額
				() 内は為替影響除く	
売上 収益	1,579	1,588	+1% (-1%)	為替の影響	+17
				医療器 : 国内は輸液ライン等が牽引。欧米は 低収益事業の整理、亜中は堅調	-8
				医薬品 : 輸液剤の低調を疼痛緩和や 癒着防止材等の伸長で相殺	-1
				ヘルスケア : 低収益な国内外アカウントの整理	-5
				アライアンス : 海外で医薬品同梱品が伸長	+7
調整後 営業 利益 (率)	244 (15%)	268 (17%)	+9% (+7%)	輸液ラインや疼痛緩和製品のコスト減に加え、海外医 療器における低収益事業の整理により収益性向上。 アライアンスにおいて製薬企業からの開発費の戻り発生	

血液システム: 前年度に底を打ち収益回復基調

(億円)

	16年度 累計	17年度 累計	増減率	主なトピック	金額
				() 内は為替影響除く	
売上 収益	945	1,047	+11% (+6%)	為替の影響 (対ドル ユーロ安)	+43
				血液センター : 米国は安定成長へ回帰 新興国で二桁伸長	+23
				アフレスシス治療 : 後継装置への切り替え 特需 (+20)	+35
				調整後 営業 利益 (率)	152 (16%)

17年度 主なトピックス

全社

- 17年度グッドデザイン賞を受賞（10月）
- 4年連続「健康経営銘柄」に選定（2月）
- がん就労支援制度において、厚労省より「がん対策推進パートナー賞」を、東京都より「優良賞」を受賞（2、3月）



「ビジキューブ、アルタビュー」 「エレマーノ2」

事業

- 愛鷹工場内にイノベーション拠点「マスターセンター」開設（5月）
- 米カリフォルニア州で脳・末梢血管領域の研究開発・生産を担う拠点開設（9月）
- テルモ山口での新棟建設を発表。カテーテル生産体制強化（12月）
- シリコンバレーの開発拠点2カ所を統合、「テルモベイエリアイノベーションラボ」開設（1月）
- 子会社バスケテック社・本社工場への50億円投資を発表。生産設備拡充（2月）

17年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	領域	製品	地域
心臓	PTCAバルーン	米:FY18	CV	人工心肺装置(再出荷)	◎ 済み
	ステント(TRI)	★ FY18		次期・人工肺	◎ 日・欧・米 FY18
ペリフェラル	PTAバルーン(TRI)	★ FY18	医療器	縦型・輸液ポンプ	日: 済み
	PTAガイディングシース(TRI)	★ FY18		抗がん剤暴露防止システム	済み
	薬剤塗布バルーン	◎ ★ 欧:FY18	DM	パッチ式・インスリンポンプ	★ 日: 承認
	塞栓コイル	◎ 済み	血液	次期・成分採血装置ソフトウェア	日: 済み
脳	プロテクションデバイス	済み			
	ハイドロゲルコイル3D	済み			
オンコロジー	放射線塞栓ビーズ	★ 済み			

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高

18年度業績予想 (IFRS)

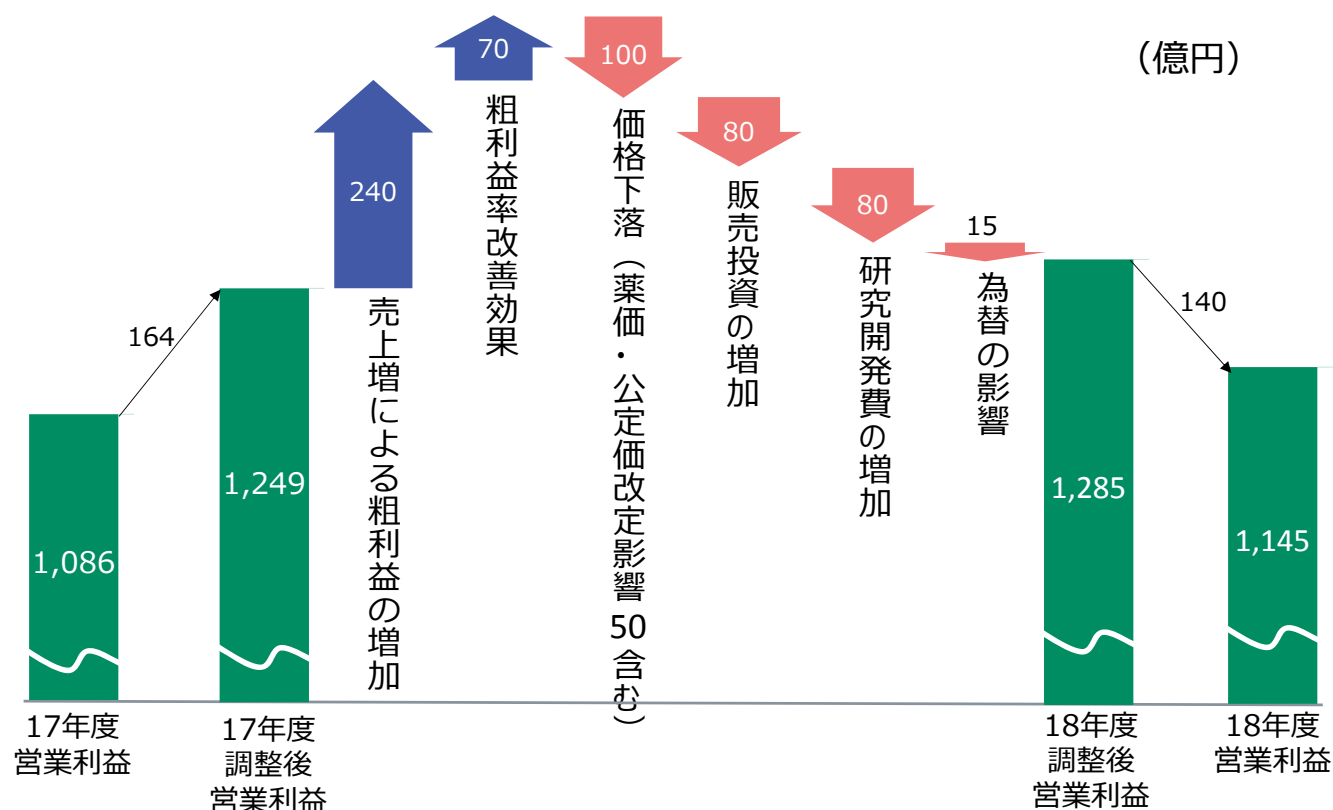
(億円)

	17年度 実績	18年度 業績予想	増減率	16~18年度 CAGR
売上収益	5,878	6,080	+3%	+9%
営業利益 (率)	1,086 (18.5%)	1,145 (18.8%)	+5%	+14%
調整後営業利益 (率)	1,249 (21.3%)	1,285 (21.1%)	+3%	+11%
当期利益	913	835	-9%	+23%

為替レート USD 111円 105円
 EUR 130円 130円



業績予想 調整後営業利益 (IFRS)



18年度業績予想

	売上収益		調整後営業利益		コメント
	金額 (億円)	増減率	金額 (億円)	増減率	
心臓 血管	18年度	3,410	26%	875	薬価・公定価引下げ、為替、 外科事業のスローダウンを考慮 すれば、これまでのモメンタム継続
	17年度	3,240	26%	836	
ホスピタル		1,630	15%	250	山口工場の償却開始、 開発費（アライアンス・DM等） の増加等により営業利益率低下
		1,588	17%	268	
血液 システム		1,040	16%	165	為替、アフレシス治療装置の 特需の影響で売上は微減。 営業利益は回復基調
		1,047	14%	151	

2018年3月期 連結決算 補足資料 (IFRS)

セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2017年3月期			2018年3月期					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	35,898	144,305	180,204	37,787	5.3%	185,402	28.5%	223,189	23.9%
ニューロバスキュラー	2,885	25,764	28,650	3,061	6.1%	32,365	25.6%	35,427	23.7%
CV	10,205	29,571	39,777	10,306	1.0%	34,753	17.5%	45,059	13.3%
血管	1,985	10,912	12,897	2,830	42.6%	17,494	60.3%	20,325	57.6%
心臓血管カンパニー	50,975	210,554	261,529	53,985	5.9%	270,015	28.2%	324,001	23.9%
医療器	51,118	25,112	76,230	50,283	-1.6%	26,198	4.3%	76,481	0.3%
D&D	42,582	-	42,582	42,474	-0.3%	-	-	42,474	-0.3%
DM・ヘルスケア	21,245	3,313	24,558	21,085	-0.8%	3,093	-6.6%	24,179	-1.5%
ホスピタルシステム小計	114,946	28,426	143,372	113,843	-1.0%	29,292	3.0%	143,135	-0.2%
アライアンス	8,851	5,723	14,574	8,877	0.3%	6,835	19.4%	15,712	7.8%
ホスピタルカンパニー	123,797	34,149	157,946	122,720	-0.9%	36,127	5.8%	158,848	0.6%
血液システムカンパニー	12,023	82,460	94,483	11,933	-0.7%	92,763	12.5%	104,697	10.8%
その他	205	-	205	216	5.4%	12	-	228	11.4%
計	187,000	327,163	514,164	188,856	1.0%	398,919	21.9%	587,775	14.3%

(期中平均為替レート)

(USD1=¥108.34)
(EUR1=¥118.74)

(USD1=¥110.85)
(EUR1=¥129.66)

キャッシュ・フロー計算書 (要約)

2017年3月期

2018年3月期

営業キャッシュ・フロー	82,888	114,562
投資キャッシュ・フロー	△ 183,517	△ 44,105
フリーキャッシュ・フロー	△ 100,628	70,457
財務キャッシュ・フロー	60,993	△ 4,132
現金及び現金同等物の換算差額	△ 2,246	△ 3,538
現金及び現金同等物の増減	△ 41,880	62,786
現金及び現金同等物の期首残高	146,927	105,046
現金及び現金同等物の期末残高	105,046	167,832

参考情報

2017年3月期

2018年3月期

2019年3月期
見通し

研究開発費	32,378	41,342	47,500
設備投資額	41,175	43,620	60,000
減価償却費及び償却費	34,471	42,035	43,000
基本的な一株当たり当期利益(円)	152.31	259.12	235.99

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。